

医学生のための
これだけは知っておきたい
“医師のキャリア事情”

2010年10月3日(日)



nhmc

株式会社ニューハンプシャーMC
医師☆キャリ～若手医師キャリア支援プロジェクト

当プロジェクトのご紹介

株式会社ニューハンプシャーMC

住所：東京都千代田区外神田6-8-1 U Yビル5階

設立：2004年9月

取締役：代表取締役 柴田雄一（医療経営コンサルティング事業部責任者）

取締役 中村正志（キャリアプランニング<人材紹介部門>事業部責任者）

事業内容：医療経営支援事業、有料職業紹介事業（医師およびセラピスト）

人材開発&出版・販売事業

キャリアプランニング事業部WEBページ案内

①医師およびセラピストの転職支援：
【ニューハンプシャー医局】



②若手医師(医学生)向けキャリア支援
【医師☆キャリア】



③研修医向けキャリア支援
【レジデントキャリア】本年7月オープン



医師☆キャリとは？

医師☆キャリとは、若手医師、医学生の皆様に対して、医師として有意義な人生を送っていただくための相談や勉強会、交流会、情報提供などを目的としたコミュニティです。医師同士の交流というのは主に診療の部分において、ネット上で盛んになってきましたが、自分のキャリアを相談し合うのに、ネット上では不十分だと考えます。また若手医師の方々は、勤務しながら様々な“悩み”をお持ちなのに、狭い社会ゆえにそれを相談する方がいないということでも、何かリアルなコミュニティを作る意義があると考えました。

医師☆キャリは、悩める若手医師の方々に寄り添い、先生方がよりよい人生を送っていただくための最大限のサポートをしていきます。

主な活動

- キャリアについての勉強会の開催（＝キャリアカフェ）
- 研修医、医学生の方の無料のキャリア相談
- キャリアセミナーやイベントの開催

* キャリアカフェの様子



* キャリア相談



* キャリアセミナー



① 醫師不足??

① 医師不足??

ある先生からのメール

.....

先日、某医師紹介会社のエージェントの方と意見交換しました。
もう6年近いお付き合いの方ですが、業界の行く末に危機感を持っておられました。
中村様も以前ブログで書かれていた通り、東京近郊の常勤は埋まりつつあり、現在募集を出しているところも「足りているけど、今の医師の代わりがいれば」という、我々からすれば恐ろしい求人理由が珍しくないそうです。また、以前だったら医師が面接で落ちることなどありえなかったのに今では珍しくないこと、非常勤案件も東京近郊は優良案件が枯渇しており福島などまで遠征される先生が珍しくないことなど、厳しいものでした。私も「最近では求人案件が減っているな」と懸念していたのですが、間違っ
てはいなかったようで、改めて身の引き締まる思いが致しました。

対談していて、何度も中村様のブログ記事が思い出され、的確な記事をお書きになっているなど改めて思いました。

.....



首都圏近郊の市中病院勤務(医局派遣)

35歳 内科医

* 写真と文は関係ありません。。。

① 医師不足??

私からの返信

いつもお世話になっております。

大変ご無沙汰しております。

●●先生から頂くコメントは当社としても大変勉強になるものも多く、今回も他社の本音?が知れ参考になりました。ありがとうございます。

先生と6年来の付き合いということは。。。○○○○さんですかねえ。

私と同じような考えを持っており、業界の行く末に対して真剣に考えられているというのはよい紹介会社さんなんだと思います。

東京近郊において、充足率が高くなり、求人が少なくなっていることについては我々にとっても先生方にとってもあまり良いニュースではないと思います。それによりマッチングが年々厳しくなり、当社も売上が上がりにくくなってきているのは事実です。しかしながら充足率が高くても転職市場がなくなるということはなく、例えば**歯科医師などはかなりの数がありますが、求人も一定数あり紹介会社も複数存在します**。医師の方々が一生同じ職場で過ごすということがない限り、一定の充足率の中で転職市場はありつづけると考えられます。

ただ、コマ数を埋めるだけの採用というのとはなくなり、(普通のビジネスマンと同様)一定の採用基準を満たした医師しか採用されなくなるのは、事実だと思います。

そういう意味において市場が適正化され、一定以上のスキルと人間性を持った医師が活躍する時代が来るのは国民目線で見ただけの場合は良い傾向といえます。

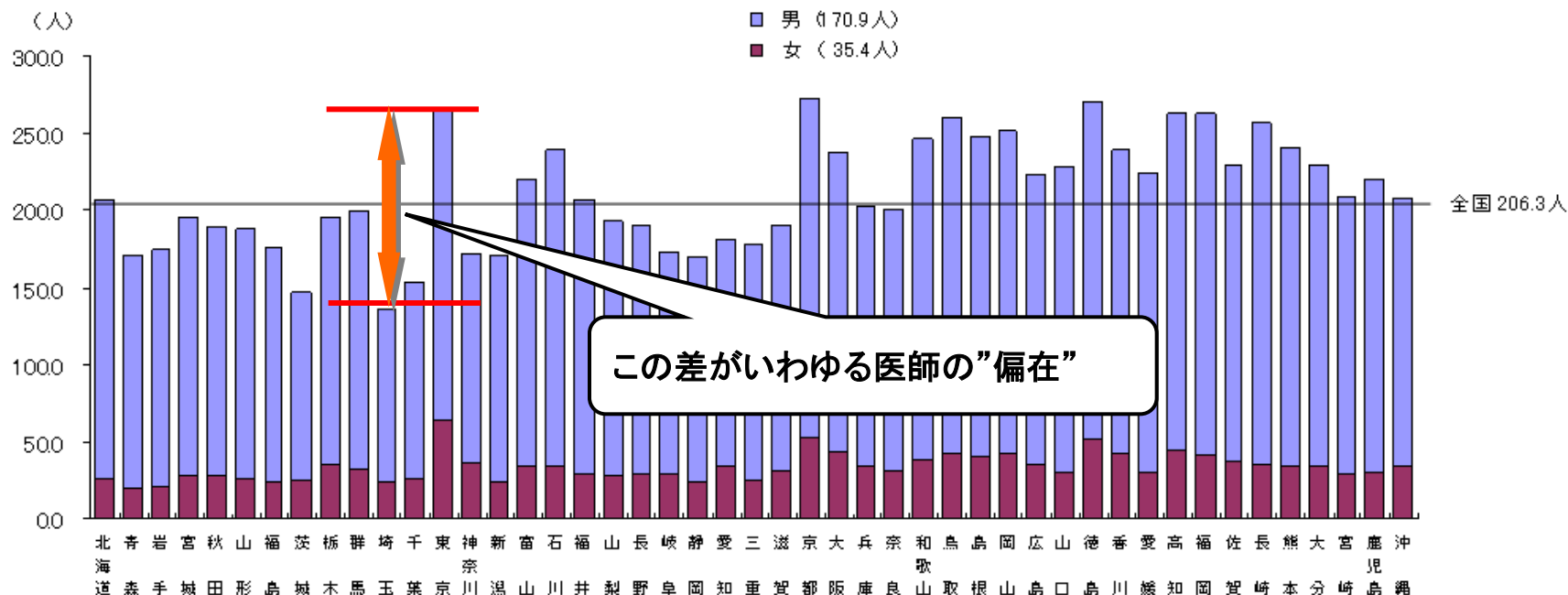
とはいえ、数年後医師の採用基準がものすごく上がるということにはならないと思います。人間性が低くコミュニケーション力が低い一部の先生の働き口がなくなるだけで、普通の先生はそれほど影響を受けないのではないでしょうか。



① 医師不足？？

医師は足りてはいないのか？

都道府県別にみた医療施設に従事する人口10万人対医師数／平成18年（厚生労働省）



⇒東京、京都、徳島などは数字上は足りている

医師不足が顕著なのは首都圏近郊の埼玉、千葉、茨城など

① 医師不足??

医師の偏在はどこから始まる?

初期臨床研修人気病院ランキング（大学病院編）

← 首都圏（東京および神奈川）

← 関西圏（大阪・京都・兵庫）

順位	病院名	都道府県	定員	第一希望者数		
				H21年度	H20年度	
1	東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都 ←	115	114	95	↗
2	東京大学医学部附属病院	東京都 ←	130	95	86	↗
3	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京都 ←	68	63	55	↗
4	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川県 ←	69	61	55	↗
5	東京女子医科大学病院	東京都 ←	79	56	50	↗
5	九州大学病院	福岡県	91	56	49	↗
5	東京慈恵会医科大学附属病院	東京都 ←	47	56	36	↗
5	金沢大学医学部附属病院	石川県	76	56	27	↗
9	京都大学医学部附属病院	京都府 ←	88	54	64	↘
10	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府 ←	60	53	44	↗
11	神戸大学医学部附属病院	兵庫県 ←	73	52	36	↗
12	大阪大学医学部附属病院	大阪府 ←	70	50	46	↗
12	国立大学法人筑波大学附属病院	茨城県	84	50	36	↗
14	久留米大学病院	福岡県	66	47	35	↗
14	大阪医科大学附属病院	大阪府 ←	49	47	29	↗
14	横浜市立大学附属病院	神奈川県 ←	48	47	27	↗
17	杏林大学医学部附属病院	東京都 ←	62	46	37	↗
18	北里大学病院	神奈川県 ←	74	45	54	↘
18	日本大学医学部附属板橋病院	東京都 ←	65	45	45	↔
20	福岡大学病院	福岡県	55	44	39	↗
21	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県	66	42	36	↗
22	奈良県立医科大学附属病院	奈良県	57	41	27	↗
22	長崎大学病院	長崎県	70	41	23	↗
24	兵庫医科大学病院	兵庫県 ←	60	40	58	↘
24	札幌医科大学附属病院	北海道	57	40	31	↗
24	香川大学医学部附属病院	香川県	50	40	30	↗
27	東海大学医学部附属病院	神奈川県 ←	51	39	36	↗
28	自治医科大学附属病院	栃木県	56	38	49	↘
28	日本医科大学付属病院	東京都 ←	40	38	29	↗
30	昭和大学病院	東京都 ←	35	37	11	↗

* 医師臨床研修マッチング協議会 <http://www.jrmp.jp/> の公表資料を病院別に集計して作成
平成21年度の研修希望者（主に医学部6年生）からの志望状況を集計し、第一希望人数の多い順のランキング

⇒大学病院の人気ランキングでは、首都圏および関西圏に人気集中

* 上位30位の中で19病院が首都圏および関西圏

① 医師不足??

医師の偏在はどこから始まる?

← 首都圏 (東京および神奈川)

← 関西圏 (大阪・京都・兵庫)

初期臨床研修人気病院ランキング (一般病院編)

順位	病院名	都道府県	定員	第一希望者数	
				H21年度	H20年度
1	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	東京都	28	63	76
2	聖路加国際病院	東京都	20	53	56
3	横浜国立大学市民病院	神奈川県	18	50	41
4	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	千葉県	18	47	45
5	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	福岡県	28	45	49
6	日本赤十字社医療センター	東京都	18	42	36
7	総合病院国保旭中央病院	千葉県	24	41	45
8	国立国際医療センター戸山病院	東京都	41	38	41
8	武蔵野赤十字病院	東京都	10	38	34
10	名古屋第二赤十字病院	愛知県	20	34	28
11	市立堺病院	大阪府	8	33	24
11	豊橋市民病院	愛知県	18	33	14
13	東京逓信病院	東京都	11	31	24
14	財団法人田附興風会医学研究所北野病院	大阪府	13	30	27
14	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	愛知県	18	30	22
16	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院	神奈川県	15	29	21
17	沖縄県立中部病院	沖縄県	20	28	36
17	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院	静岡県	12	28	23
19	飯塚病院	福岡県	15	27	37
19	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	東京都	19	27	27
19	宗教法人在日本南ブレスピテリアンミッション淀川キリスト教病院	大阪府	14	27	24
22	東京都立府中病院	東京都	13	25	34
22	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	熊本県	16	25	6
24	神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県	16	24	28
24	財団法人大阪府警察協会大阪警察病院	大阪府	14	24	27
24	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院	長野県	15	24	15
27	手稲深仁会病院	北海道	20	23	34
27	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	大阪府	16	23	19
27	大阪市立総合医療センター	大阪府	16	23	18
30	NTT東日本関東病院	東京都	12	22	33
30	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	福岡県	16	22	22
30	京都第二赤十字病院	京都府	19	22	12

* 医師臨床研修マッチング協議会 <http://www.jrmp.jp/> の公表資料を病院別に集計して作成
平成21年度の研修希望者 (主に医学部6年生) からの志望状況を集計し、第一希望人数の多い順のランキング

⇒ 一般病院については大学病院ほどではないが、人気は都市部に集中している
研修医を集めることができる病院を持っている地域、県はその後比較的医師が
定着する(つまり東京都、神奈川県、大阪府などは医師不足になりにくい)

① 医師不足??

偏在は地域だけではない?

科目別にみた求人数／平成21年（当社社内資料）

科目別（常勤のみ）

内科系

一般内科	87
循環器内科	48
消化器内科	45
呼吸器内科	40
内分泌内科	29
神経内科	28
老人内科	19
人工透析	15
血液内科	11
心療内科	11
健診・人間ドック	10
腎臓内科	7
糖尿病	2
外科系	
整形外科	35
脳神経外科	29
一般外科	22
消化器外科	16
呼吸器外科	8
心臓外科	8
形成外科	3
美容外科	3
乳腺外科	2

他科系	
泌尿器科	25
小児科	23
リハビリテーション科	19
精神科	16
在宅診療	16
眼科	16
麻酔科	14
産婦人科	13
耳鼻咽喉科	12
救命救急	11
病理	11
放射線科	10
皮膚科	9
婦人科	4
老健施設	3
緩和ケア	2
総合診療	1
その他	21

求人が多いのは圧倒的に内科

最近若手医師に人気のある、精神科、皮膚科、麻酔科などは決して求人が多くない

⇒医師不足が数字上、一番足りていないのは圧倒的に**内科**

⇒求人が多い科目は、就職先、転職先の候補が多くなり、少ない科目は候補先が少なくなり、また条件面でも差がついてくる

① 医師不足??

小まとめ

1. 医師不足であるから、医師になれば社会から優遇される?

⇒基本的にYES。ただし医師なら誰でも良いという訳ではない

2. 今後は医師の充足率が高まり、就職は多少厳しくなる

⇒基本的にYES。就職先がないということは今のところ考えられないが人気の病院はより入るのが難しくなる

3. 非常勤の仕事は見つけるのが難しくなる?

⇒基本的にYES。医療費の削減傾向は病院経営を圧迫しており、効率経営の観点からも、費用対効果が悪い非常勤から常勤へシフトしていつている

4. 医局に残った方がよい?

⇒どちらとも言えない。先生自身がどういう生き方がしたいかが大事。ただマイナー科は残った方がよい場合がある

5. 女医は歓迎される?

⇒婦人科や小児科では基本的に歓迎されるが、今の傾向として女性も男性もその個人の働き方が勤務先と合うかの方が重要

② 医療機関側の事情

② 医療機関側の事情

病院の数って増えている？減っている？

施設の種別別にみた施設数／厚生労働省

表1 施設の種別別にみた施設数

各年10月1日現在

	施設数		対前年		構成割合(%)	
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	増減数	増減率 (%)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)
総 数	175 656	176 192	△ 536	△ 0.3
病 院	8 794	8 862	△ 68	△ 0.8	100.0	100.0
精神科病院	1 079	1 076	3	0.3	12.3	12.1
結核療養所	1	1	-	-	0.0	0.0
一般病院	7 714	7 785	△ 71	△ 0.9	87.7	87.8
(再掲) 療養病床を有する病院	4 067	4 135	△ 68	△ 1.6	46.2	46.7
一般診療所	99 083	99 532	△ 449	△ 0.5	100.0	100.0
有 床	11 500	12 399	△ 899	△ 7.3	11.6	12.5
(再掲) 療養病床を有する 一般診療所	1 728	1 887	△ 159	△ 8.4	1.7	1.9
無 床	87 583	87 133	450	0.5	88.4	87.5
歯科診療所	67 779	67 798	△ 19	△ 0.0	100.0	100.0
有 床	41	48	△ 7	△ 14.6	0.1	0.1
無 床	67 738	67 750	△ 12	△ 0.0	99.9	99.9

⇒病院は月に5.6件、診療所は月に37.4件、減っている



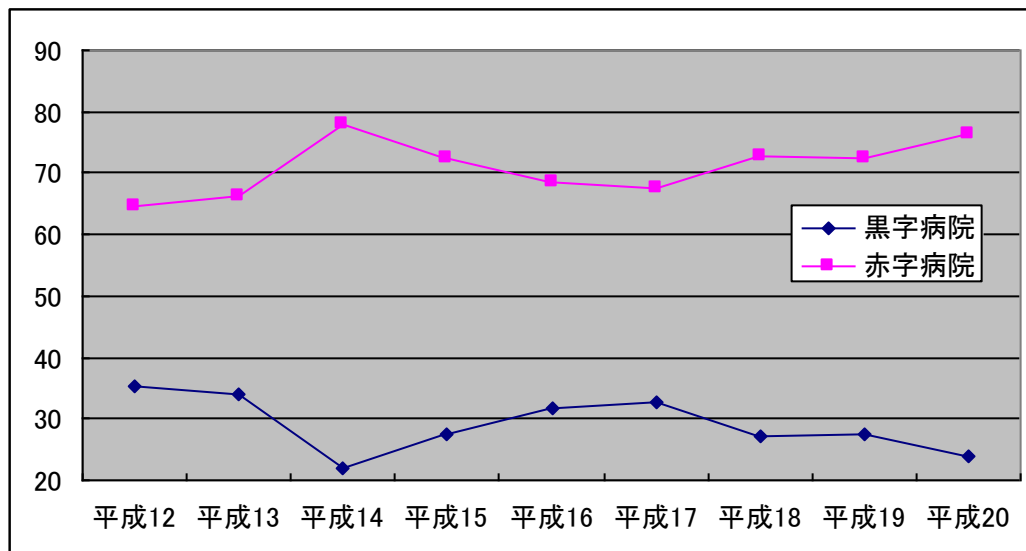
② 医療機関側の事情

病院は儲かっている？儲かっている？

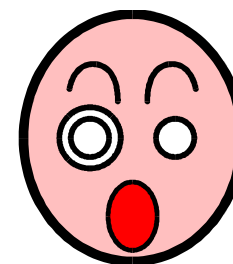
黒字、赤字病院構成比推移：総数（自治体、その他公的、民間）／全国公私病院連盟、日本病院会

* 数値はすべて%

	黒字病院	赤字病院
平成12	35.4	64.6
平成13	33.9	66.1
平成14	21.9	78.1
平成15	27.6	72.4
平成16	31.6	68.4
平成17	32.6	67.4
平成18	27.2	72.8
平成19	27.6	72.4
平成20	23.8	76.2



⇒すべての病院の中で黒字病院はわずか、**23.8%！！**



② 医療機関側の事情

病院側が求める医師像って？／当社のヒアリング資料をもとに作成



「やわらかい方、**患者さんからの視点**を理解していただける方(教授タイプはダメ)」

／東京都 民間病院 100床(療養型)

「女性よりは**男性医師希望**(女性の常勤医を雇ったが、すぐに辞めてしまうことが多いため)」

／東京都 民間クリニック 15床

「**経営的視点**をもった先生」

／東京都 民間クリニック 無床

「女性医師希望、**コミュニケーション能力**が高い先生」

／東京都 民間病院 100床(ケアミックス)

「**年齢などの希望は特にな**い、コミュニケーションを取れる人であればよい」

／神奈川県 準公的病院 300床(ケアミックス)

「**組織の中でうまくや**っていける人」

／神奈川県 民間病院 400床(ケアミックス)

「メリハリがあり、お母さんに安心感を与えられる方、週3～4日勤務が出来る方が好ましい(**週1はダメ!**)、5年は子供の成長を見て上げられる方、採血、点滴などの手技は通常にこなせること」

／神奈川県 クリニック 無床

② 医療機関側の事情

医師の採用にあたって病院が重視する点は何ですか？／某医師紹介会社アンケート結果より抜粋

1位・・・圧倒的に人間性

2番目以降

2位:技術

3位:診療科目

4位:コミュニケーション能力

5位:臨床経験

6位:専門医・認定医などの資格



⇒病院が医師を採用する際の基準で一番高いのは人間性！！

② 医療機関側の事情

小まとめ

1. 医療機関の数は減少傾向。経営的には厳しい状況が今後も続きそう
2. 経営環境の厳しさにより、経営主体の変更(=M&A)などはかなり行われている
3. 医療機関としては、医師に対して一定以上の収益を求めるようになり、また民間病院においては診療科の選別がより厳しくなる
4. 医療機関側が求める医師像としてあげているのは、診療技術より人間性
5. 医師を採用する側にとって、男性、女性の違いはあまりなくなっている。ポイントは、どれだけその医療機関で活躍していただけるか(勤務日数を含め)

③ 若手医師の傾向

③ 若手医師の傾向

医学生が研修病院を選ぶ基準／マッチング協議会 学生アンケート

1. 指導体制	18%
2. プログラム内容	17%
3. 大学や関連病院であること	12%
4. 実家に近い	11%
5. 評判	10%
6. 給与、勤務条件	9%
7. 都市部	7%
8. 後期研修の関連	5%
9. 現在の自宅の近く	5%

⇒基本的には、研修を受ける上での指導体制やプログラム内容を重視するが、それでも医学生の1/4が、研修病院の立地を重要視している

希望する診療科について／厚生労働省資料

1. 内科	11%
2. 小児科	7%
3. 外科	7%
4. 消化器科	7%
5. 麻酔科	7%
6. 整形外科	6%
7. 循環器科	5%
8. 精神科	5%
9. 産婦人科	4%
10. 呼吸器科	3%

科目別(常勤のみ)

内科系

一般内科	87
循環器内科	48
消化器内科	45
呼吸器内科	40
内分泌内科	29
神経内科	28
老人内科	19
人工透析	15
血液内科	11
心療内科	11
健診・人間ドック	10
腎臓内科	7
糖尿病	2

外科系

整形外科	35
脳神経外科	29
一般外科	22
消化器外科	16
呼吸器外科	8
心臓外科	8
形成外科	3
美容外科	3
乳腺外科	2

他科系

泌尿器科	25
小児科	23
リハビリテーション科	19
精神科	16
在宅診療	16
眼科	16
麻酔科	14
産婦人科	13
耳鼻咽喉科	12
救命救急	11
病理	11
放射線科	10
皮膚科	9
婦人科	4
老健施設	3
緩和ケア	2
総合診療	1
その他	21

⇒内科の希望が多いが他の科目に比べ圧倒的に多いとはいえない。

③ 若手医師の傾向

診療科を選んだ理由／厚生労働省資料

1. 学問的に興味があるから	71%
2. やりがいがあるから	63%
3. 良い指導医がいたから	34%
4. 自由な時間が多いから	12%
5. 先輩や教授に誘われたから	10%

⇒診療科選びにおいて一番大切なのは自分の興味、関心。ただし今後の自分のライフステージも合わせて考えることも必要

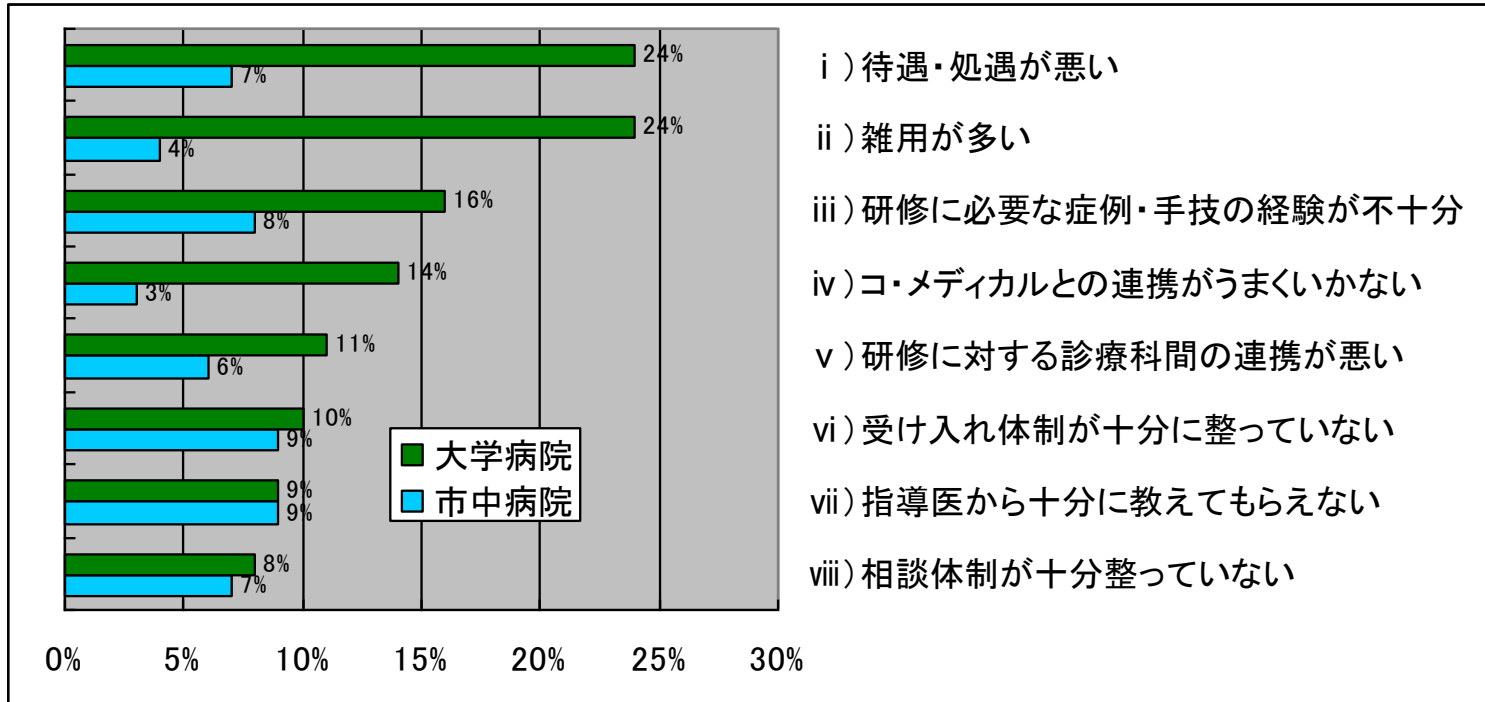
大切に思うことについて／厚生労働省資料

1. 家族・家庭	43%
2. 社会への貢献	18%
3. 技術向上	11%
4. 自分の自由な時間	7%
5. 収入	2%

⇒仕事重視より、自分の時間や家庭を大切にする姿勢が読み取れる

③ 若手医師の傾向

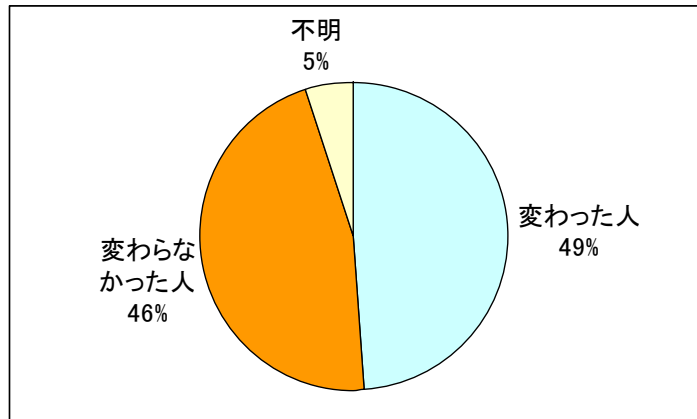
研修体制などで改善すべき点／厚生労働省



⇒ 相対的に大学病院の方が不満は多い。顕著すべきは待遇面や勤務内容について。市中病院では(研修医の)受け入れ態体制の不備についての不満が比較的高い

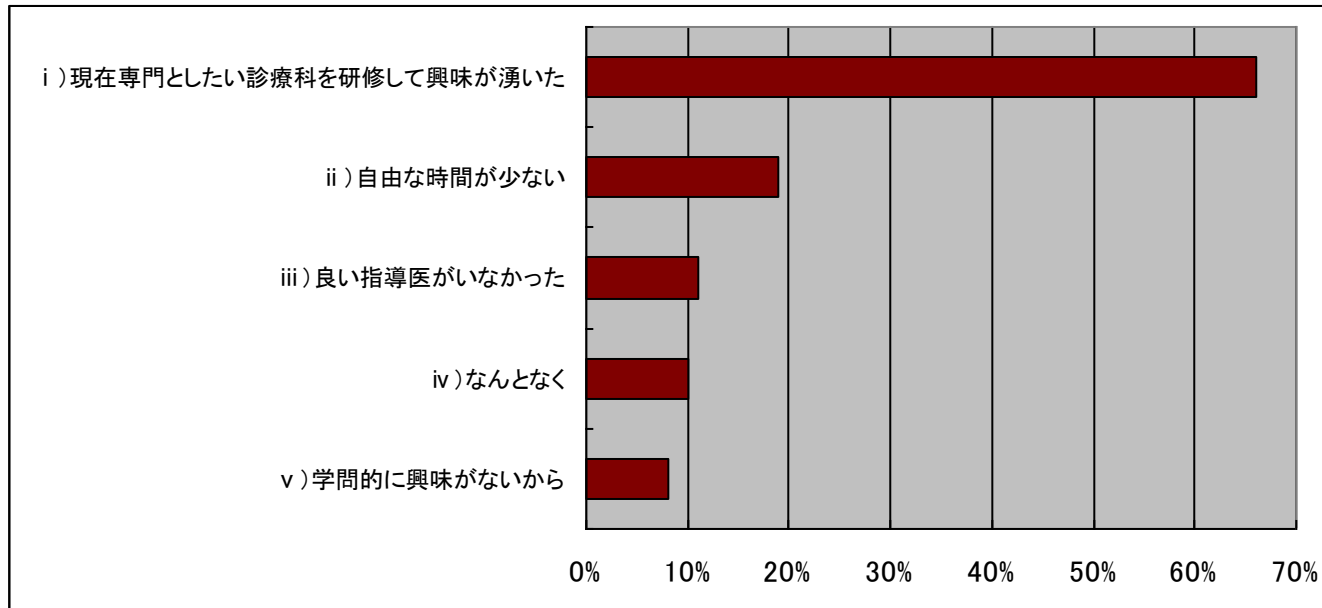
③ 若手医師の傾向

研修後の診療科変更／厚生労働省調べ



⇒研修後に診療科を変更する方は半分近くに上る。つまり医学生の方は将来自分の進む科目が変わることもありうることを意識することが必要

変わった人が診療科を変更した理由／厚生労働省調べ



③ 若手医師の傾向

小まとめ

1. 希望科目は分散傾向。求人は圧倒的に内科が多いがそれには比例していない
2. 仕事における価値は下がり気味で、自分や家族との生活を大切にする傾向がある
3. (研修病院を含む)病院選択において、立地を重視する傾向がある
4. 研修内容や指導体制についての質は重視するが、待遇や勤務における雑用は嫌う傾向がある
5. 初期研修を受けながら、当初描いていた自分の希望科目と違う科目を選択する方も多い

④ キャリアについての 若手医師の悩み

④ 若手医師の悩み

1. 35歳 男性 消化器内科医 地方国立大 医局在籍



⇒悩み: 医局から出ることが出来ず、症例が積めない

消化器内科医として一定の強みを持つべく、内視鏡などの症例が積みたいが、医局の関連病院では、医師不足の病院が多く、どうしても一般的な内科の外来および病棟管理に従事されがち。医局関連で魅力的な病院はないのに、教授の意向で医局を離れることが難しく、このままだと消化器内科の資格が取れずどうしてよいか分からない

2. 33歳 女性 形成外科医 地方国立大 医局在籍



⇒悩み: 希望勤務地での仕事がない

医局からの派遣である準公的病院で勤務しているが、いずれ首都圏で勤務したいと思っている。理由としては現在の医局に属している意義が感じられないこと。しかし首都圏にて一般病院での形成外科の求人は皆無で、美容外科の求人ばかり目立つ。皮膚科などに転科して首都圏にて仕事を探すか、それとも(本望ではないが)美容外科医として勤務するかを悩んでいる

3. 32歳 男性 麻酔医 首都圏私立大 医局在籍



⇒悩み: 仕事にやりがいを感じられない

麻酔の症例が多い病院で、経験は十分積んできており腕にも自信がある。病院での麻酔科医の数は多いが、女性の医師が多く時短勤務を選択されるため、夕方からはその先生方のやり残した業務がすべて自分のところに来てしまい、雑務に追われている。今後良さそうな求人案件があれば、転職したいと思っている

④ 若手医師の悩み

4. 32歳 男性 消化器外科医(後期研修医) 地方国立大 民間病院在籍

⇒悩み:チームでのコミュニケーションがうまく取れない



消化器外科医として、研鑽をしているが上司とのコミュニケーションがうまくいかない。立場上は学ぶ立場のため上司に従わないといけませんが、自分の意見を必要以上に主張してしまい関係が悪化している。勤務先の病院は症例数も多く自分が成長する意味では良い環境であるが、充実した勤務を続けることが難しく精神的につらくなってきており、転職および転科を考えている

5. 32歳 女性 消化器内科医 地方私立大出身 民間病院 非常勤勤務

⇒悩み:自分が希望する時間帯での勤務先がなく、腕が落ちるのが心配



地方からご主人の出身である東京に転居。子供が2人おり、まだそばにいてあげたいため基本的に非常勤での勤務を希望。しかしながら自分が働ける時間帯での求人が少なく、なかなか勤務に踏み出せない。健診などのアルバイトはたまに行っているが、消化器内科医として内視鏡の一定の経験は保ちたいがそのような求人はほとんどない。子供が大きくなれば常勤も考えていきたいが、その頃まで自分のスキルが保てるか心配

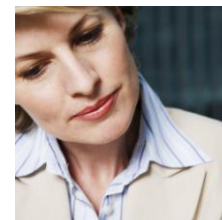
⑤ よりよいキャリア形成のために

⑤ よりよいキャリア形成のために

1. 自分を知ること(=内部環境を知る)

- 自分はどんなタイプの仕事をしたいのか？

- 職場環境に求めるものは何か？
- どんな人たちと一緒に仕事をしたいのか？
- 自分が備えている能力は何か？
- これから身につけていくべきスキルは何か？




他人の意見も聞いてみる！！

自分の能力や価値観を知る上で、同僚や家族などに自分のことを聞いてみるのも一手です。聞いてみるのがちょっと恐いかもしれませんが、それにより自分をもっとよく知ることができます

⇒自分という人間を知らないと、何を選択したいのか、どのような医師になりたいのかという道筋が見えない

⑤ よりよいキャリア形成のために

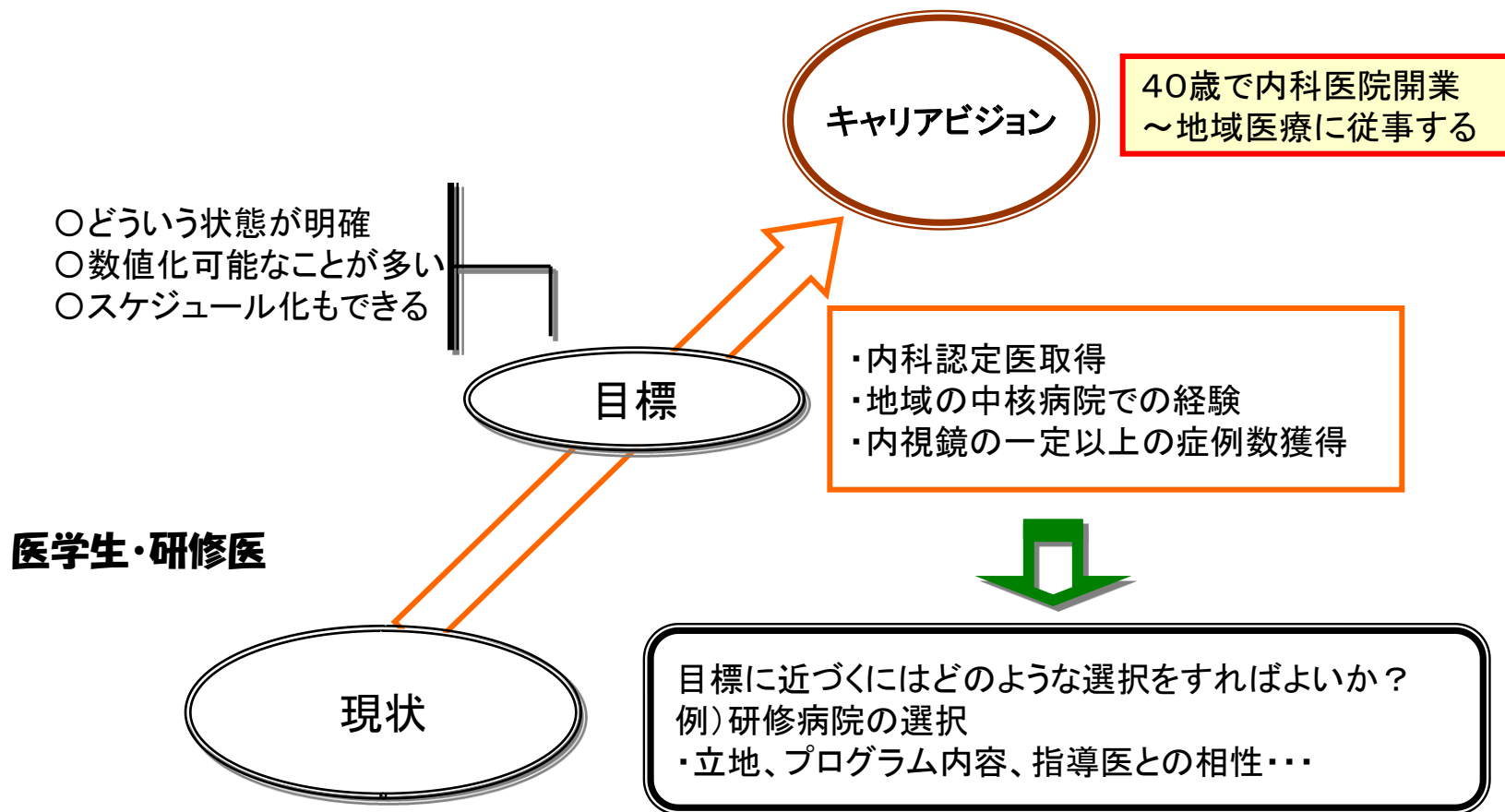
2. 雇われる側(医師・研修医)と雇用する側(医療機関)のニーズのギャップを意識する(=外部環境を知る)

	 医師の勤務ニーズ	 医療機関の採用ニーズ
①勤務期間	長く勤めたいが他に良いところがあれば移る 技術が習得できればそれまで (研修医)	患者さんのためにも出来るだけ長く勤務して欲しい 初期だけではなく後期も研修して欲しい(研修医)
②勤務形態	常勤でもいいが、場合によっては非常勤でも勤務したい	常勤重視
③給与	出来るだけ多く	健全経営のため出来るだけ押さえない
④勤務内容	自分の成長や資格取得に関するものだけ早く経験したい	外来や病棟など基本となる一通りの業務をしていただきたい
⑤勤務時間	できるだけ短く。当直や夜勤はなるべく避けたい	当直や夜勤などは、一定以上の協力をお願いしたい

⇒雇用主と雇用される側のギャップが完全に埋まることはないが、少なくとも相手のニーズは理解しその上で勤務の形態を相談すべき。また市場環境と自分のキャリアの方向性も考慮する

⑤ よりよいキャリア形成のために

3. キャリアビジョンをつくり、現状と目標のギャップを見出す(=生きるうえでの戦略作り)



⇒キャリアビジョンは戦略的に作り、実現のための計画性や実行性を定期的に確認、(必要であれば)修正していく

ご静聴ありがとうございました

～～～お知らせ～～～

次回、医学生のためのキャリアカフェのご案内

11月20日(土) 17:30～(2時間程度)

銀座にて開催いたします。

キャリアについて、他大学の方と情報交換をしませんか？参加は無料

開催詳細、お申込みは医師☆キャリアホームページにて

<http://www.ishicari.com/>

または『**医師 キャリ**』で検索して下さい！！

